

2017年度入学式式辞

2017年4月4日火曜日
京都造形芸術大学学長 尾池和夫

京都造形芸術大学芸術学部に入学者の新入生928名、2年次編入学3名、3年次編入学8名の皆さん、京都造形芸術大学大学院芸術研究科修士課程に入学者の66名の皆さん、博士課程に入られた5名の皆さん、以上1010名の方々、入学おめでとうございます。列席の瓜生山学園の役員、副学長、学部長、研究科長、すべての教職員とともに、皆さんの入学を、心からお祝い申し上げます。

日本の各地、世界の各地から、この瓜生山学園を学習の場として選んでくださった皆さんに感謝しつつ、瓜生山学園の役員、教職員が皆さんの期待に応える所存です。卒業あるいは修了の日まで、できるかぎりの努力をしてこの学園の蓄積を利用してほしいと思います。

入学までを支えてこられたご家族の皆さまに、心からお祝い申し上げますとともに、大学生となられた方を独立した社会人として、静かに、しっかりと見守っていただきたいと願っています。

今までに京都造形芸術大学で学位を得た方は、博士39名、修士951名、学士10483名になりました。これらの先輩たちが世界で活躍しています。その様子を、さまざまの機会にしっかりと見ていただきたいと思います。例えば今、京都の街のあちらこちらに、多くの美術館や博物館などの施設がありますが、皆さんは学生証で優待を受けることができます。学生手帳をよく読んで、それらをできるだけ活用してほしいと思います。

京都の街は、1300年の歴史を持つ街です。この大学で学習し制作活動を行う一方、在学中に少しでもこの街を知ってほしいと思います。京都の街のあらゆる所に歴史があり、また最先端の知の集積があります。悠久の歴史から学び、最新の知識から学ぶことによって、創作活動に活かす財産としてほしいと思います。

また、学園内では課外活動にも参加してほしいと思います。例えば、このあと皆さんの入学を祝って和太鼓「恵」の祝奏がありますが、この「恵」は、この学園の学生や職員の課外活動です。一方では、太鼓は大きな音を出しますから、もしそれが身体に苦痛とを感じる方がおられたら遠慮なく立って席を変えてください。各々の事情に応じた支援をするのが学園の使命でもあります。もちろん自由と規律のバランスを自ら判断できることも社会人としての能力です。

皆さんはこれから自らの力と判断で学習を深めます。インターネットの情報が氾濫していて、何が正しい情報かわかりにくい世の中になっていますが、大学では、皆さんはその弊害を自らの学習によって乗り越え、正しく近未来を見つめながら物事の本質を理解する学生であってほしいと思います。例を3つあげてみたいと思います。

例えば、日本の現状について、日本は世界第3位の農薬使用大国であり、耕地1ヘクタールあたりの農薬使用量(2010年)は、アメリカ合衆国の2倍、ヨーロッパ諸国の3倍から10倍に及ぶというようなデータがあります。見た目にきれいな野菜や果物の売れる日本の社会で、農薬を使用せざるを得ない農家が育ってきました。画一化された商品を並べるために安全性を軽視してきたのです。これはFacebookからの情報です。

ネオニコチノイド系の農薬が原因で、自然生態系の維持に重要な蜜蜂の大量死と群の消滅が世界中で問題となっています。本学では構内で日本蜜蜂を守ろうという活動を企画するグループがそのような問題を考えています。

2つ目は日本の教科書検定制度のことで、今回、初めての小学校道徳の教科書検定が終わり、文部科学省が検定過程で多くの意見を付け、積極的に関与する姿勢が見えました。教材に登場する「パン屋」を「和菓子屋」に変えた例が **Twitter** で話題になりました。指導要領にある「我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつ」という点に関わるものだと言われます。一方では、官報で中学の保健体育に、武術の種目として新たに「銃剣道」を加えた武道 9 種目が記されました。これらの問題について、皆さんにもよく考えていただきたいと思います。

3つ目は、桜の開花情報のことです。気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により、梅や桜の開花した日、楓や銀杏の紅（黄）葉した日などの植物季節観測を実施しています。今は桜の花の話題が多いのですが、それを報道する新聞やテレビのニュースに、開花予想、桜前線、開花宣言などが気象庁から発表されたように表現する例がよくみられます。テレビで標準木を観測している方に、宣言してくださいと要求している記者もいました。気象庁はそのような用語は使わないことになっています。このような制度や用語を正しく知っておくことも、開花だけでなく、大雨などの災害に関わる自然現象の情報の扱いにも関連する重要なことです。

さまざまの視点から幅広く学習し、多くの人との交流を大切にして、大学生活を満喫してほしいと思います。そのための一つの方法として、皆さんにおすすめしておきたいのは、ご自身の卒業、あるいは修了の日の姿を具体的な形に描いて見える場所に掲示し、それを実現するための道筋を考えながら、毎日をしっかりと過ごすということです。尊敬する人をモデルにしてもいいし、想像の人物を描いてもいいと思いますが、目標を置いて、決してあきらめることなく、それを目指してほしいと願って、私の入学式での式辞とします。

ご入学おめでとうございます。

ありがとうございました。